

平成 23 年度 高知県地球温暖化防止県民会議 第 2 回幹事会要旨

日 時：平成 23 年 10 月 25 日（火曜日）午前 10 時から午前 12 時 30 分まで

場 所：高知共済会館 4 階会議室（高知市本町 5 丁目 3 - 2 0）

出席者：別紙名簿のとおり（1 名欠席）

I 報告事項

1 県民会議について

県民会議の会員数は 2 4 9 団体となっている。前回の幹事会以降に 1 団体退会した。

2 県民部会について

(1) 部会・ワーキングの開催について

平成 23 年度県民部会年間スケジュールを説明

(2) 部会の開催状況について

8 月 2 6 日に第 2 回県民部会を開催した。

各ワーキングの進捗状況報告と、コツコツ削減プロジェクトワーキングの設置の提案があり、承認された。

1 0 月 6 日に第 3 回県民部会を開催した。

環境家計簿促進事業の進捗状況報告及び各ワーキングの進捗状況報告を行った。

豊かな環境づくり総合支援事業費補助金を活用した事業提案として、次の 4 件の提案があり、承認された。

ア 高知県のエコドライブ推進事業

イ 電気自動車インフラ整備に関する検討

ウ あったか省エネ冬の暮らし方提案事業

エ 小学生のための温暖化防止啓発用オリジナル紙芝居づくり事業

次回は 1 2 月 1 日頃に開催することとしている。

○木づかいワーキング

1 0 月 1 1 日に 3 回目のワーキングを開催、「積み木プロジェクト」の実施主体の「NPO 法人 84 プロジェクト」より、事業の進め方について報告を受けた。

○レジ袋削減ワーキング

10 月 2 日にイオン高知でキックオフイベントとして、マイバッグコンテスト・新聞バッグ作成、風呂敷の使い方などを合せたイベントを開催した。

○ですかでゴーワーキング

ですかでゴー事業の課題整理等を行うために、ですかでゴーワーキングを設置し、事業要綱・要領案を作成した。

○コツコツ削減プロジェクトワーキング

県民会議会員のマスコミ各社と、温暖化防止活動推進センターが中心となってプロジェクトを行っている。次回ワーキングは 1 0 月 2 8 日開催予定である。

現在参加は個人96名、事業者33、学校28となっている。

○電気自動車ワーキングについて

電気自動車インフラ整備について検討するワーキングを設置予定である。

(3) 豊かな環境づくり総合支援事業費補助金について

県民部会の提案事業として、4件申請を予定している。

(4) 環境家計簿について

「子ども向け」

出前授業については9月にも引き続き4小学校で実施、一般向けとして9月にコープ鴨部での開催を企画したが、参加者がいなかったため中止した。

「一般向け」

家庭のものさし調査への協力依頼を引き続き行っている。(300世帯目標)

3 事業者部会について

(1) 部会・ワーキングの開催について

平成23年度事業者部会年間スケジュールを説明

(2) 部会の開催状況について

11月中に開催予定。

(3) ワーキングの開催状況について

4月26日の第一回ワーキング以降開催していない。

(4) おらんくのストップ温暖化宣言事業者推進事業

環境フォーラムを平成24年1月に開催する。

びわ湖環境ビジネスメッセの視察を行った。今後、県内で環境経営に取り組む事業者にはフォーラムでの取組事例発表をお願いしていく。

(5) エコアクション21推進事業

エコアクション21審査人養成支援として2名の受験等支援を行っており、10月中に2次試験の結果発表がある予定である。

エコアクション21認証登録事業者は現在97社であり、確実に増えている。

(6) 省エネルギーアドバイザー派遣事業

8月に商工会議所会報にチラシを入れた他、高知県中小企業団体中央会の機関紙にも掲載した。新たに3社から問い合わせがあり、対応している。

(7) エコ通勤ウィーク

11月14日(月)から11月20日(日)に開催を決定しており、県民会議会員、商工会議所会員にチラシを発送した。昨年参加していただいた16社には個別に参加を依頼している。

現在5社184名、延べ727名の参加申込みを受け付けている。

(8) 省エネ機器導入促進事業

補助金等の情報をホームページで提供した。

#### 4 行政部会

(1) 部会・ワーキングの開催について

平成 23 年度行政部会年間スケジュールを説明

(2) 部会の開催状況について

第 2 回の部会を 11 月に開催予定。

(3) ワーキングの開催状況について

地方公共団体実行計画ワーキングを立ち上げた。

(4) 地方公共団体実行計画の策定推進

環境省主催のワークショップに県新エネルギー推進課が代表として参加している。第 2 回ワークショップが 11 月 2 日に開催されるため、この内容を踏まえて、11 月中に地方公共団体実行計画ワーキングを開催する。

(5) グリーン購入の推進

11 月 7 日に開催される市町村総務・財政担当者会でグリーン購入基本方針の策定について県新エネルギー推進課から説明を行う予定である。

(6) 地球温暖化防止活動推進員の活用及び増員

県内 4 箇所で養成講座を開催し、新たに 9 名に委嘱したが、本年度更新を迎えた推進員のうち、6 名が更新を希望しなかったため、本年度は 3 名増となる。

(7) 県民への地球温暖化防止の啓発

10 月の 3R 推進月間にあわせて「レジ袋削減の啓発」のための記事を市町村の広報誌に一斉に掲載するとともに、高知県からのお知らせ（10 月 1 日高知新聞）、県民ニュースでも県民部会主催のマイバッグキャンペーンへの参加を呼びかけた。

※上記報告事項に対する幹事からの意見等

質問 推進員が継続しない理由は何かあるのか。

回答 仕事等が忙しい、熱意がなくなった等が理由と聞いている。

質問 どんな活動をしているのか。

意見 地域の行事等で啓発活動を行っている。

質問 コツコツ削減プロジェクトは毎年やるのか。

回答 今年度はやっているが、毎年やるかどうかは未定。

意見 コツコツ削減プロジェクトは寄付で継続できるのか。今年は震災対策の目的があるが、毎年やるとなると正式な CO2 排出権等でないと企業は続けてお金を出しづらいと思う。

質問 コツコツ削減プロジェクトで集めた寄付を東北に送るのは今年だけか。  
回答 今年だけとなる。コツコツ削減コンテストという取組はずっとやっている  
ので、継続していきたい。

意見 エコアクション21推進のために、グリーン購入でエコアクション21を  
取得している企業を優遇してほしい。廃棄物関係業者等も含め、裾野を広  
げてインセンティブを与える取組をお願いしたい。

## II 協議事項

### 1 交通エコポイント活用社会還元事業の実施について

県民部会事務局より、交通エコポイント活用社会還元事業実施要綱（案）、交通エ  
コポイント活用社会還元事業「ですかでゴー」実施要領（案）の説明を行い、要綱、  
要領共に承認された。

#### ※幹事からの意見等

意見 企業に対して寄付をお願いするにあたって、非公認のCO2削減ではお金を  
出せないと思う。継続性があるのか。

質問 ですかでゴーを続けたいので、企業に協力を求めますということか。

回答 ですかでゴーに特化する必要はないと考えている。公共交通ではなく、環  
境活動にもポイントを付与したり、原資を活用することを考えている。

意見 ですかでゴーで使用するですかカードはJRでは使えない。利用が高知市  
等に限定される。幅広く活用されるようにしてほしい。

意見 スポーツクラブ等に安易にですかカードを貸し出すのはどうか。

回答 マナーや公共性の習得という側面もある。公共交通に乗ったことのない子  
どもに機会を提供する。スポーツクラブの使用は削除する。

質問 同じ団体が何度も使っているということはないか。

回答 実際にそういう事が発生しているが、ですかでゴーがあるから校外活動を  
しているという訳ではない。もちろん利用希望が増えたら、利用実績のな  
い団体を優先するという事はありうる。

意見 単年ならいいが、郡部への広がりも考えないといけない。上手に広く市内  
だけでなく郡部の学校にも広げて行ってほしい。

### 2 豊かな環境づくり総合支援事業費補助金への申請事案

- (1) あったか省エネ、冬の暮らし方提案事業  
事業で購入するサーモカメラを継続して広く活用することを条件に承認。
- (2) 一般家庭へのエコドライブ普及啓発事業  
全会一致で承認された。
- (3) 電気自動車用充電インフラ整備に関する検討  
幹事より次の意見があり、保留とし、再度説明を求めることとした。  
(後日、10月28日書面での採決では、反対3、賛成6、賛成多数で承認された。)
- ※幹事からの意見等
- ・県民やNPOがすることではない。行政がやることではないか。
  - ・ニーズ調査は自動車メーカーがやることではないか。EVオーナーへのダイレクトメールは販売店でないと出せないのでは。
  - ・誰がインフラ整備をやるべきかという情報を収集するだけならNPOがやってもいいのではないか。その情報を持ち寄ってワーキングで検討するという事ではないか。
  - ・電気自動車が本格的に売り出せる技術水準に達したらおのずとメーカーが事業展開する。NPOがちょっとやるような次元ではない。
  - ・インフラ整備を加速するために市民の意見を聞くということか。
  - ・インフラ整備にEVメーカーが本腰を入れないのはまだ技術的に電気自動車が開発段階と考える。
  - ・充電器を設置してもEVへ電気は売れない。
- (4) 小学生のための温暖化防止啓発用オリジナル紙芝居づくり事業  
賛成多数で承認された。

### III その他

次回は3月に開催することとし、日時については改めて事務局が文書で調整することを確認して閉会した。